

2022年度日本工学院専門学校

音響芸術科

海外研修

対象	1 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	裴輪直子・梶原更宮			実務経験	有	職種	エンジニア				

担当教員紹介

放送業界におけるポストプロダクションスタジオにてMAエンジニアとして従事。撮影の音声から効果音・選曲、仕上げのM i xまで幅広い業務経験を有している。

授業概要

日本文化とアメリカ文化を事前に学習し理解する事で両国の相互関係を知る。また事前に調べた事を英会話として成立させ、現地学生に対して日本文化を英語でプレゼンテーションする事で英語力を磨くと同時にコミュニケーションスキルも向上させる。将来海外で働く事も視野に入れグローバルな広い視野を持ちこれからの日本を支える人材へと育てて行く。アメリカでの生活を通して本場のエンタテインメントに触れる事で多くの刺激を受け帰国後は自らの企画やパフォーマンスに反映される様に努力する姿勢を持たせる。

到達目標

自己紹介とテーマ説明後のメの挨拶だけでは無く日本文化の中身についても英会話が出来るようにチームで取り組み協力して進めて行く。海外で暮らす同世代がどのような事に興味関心を持つのか事前リサーチを実施し現地ではコミュニケーションを図る手段を模索・検討させる。海外の建造物や文化に触れる事で日本文化を再認識し双方の良さを含めたイベントの実施やパフォーマンスの向上に役立てて行く。

授業方法

多くの学生が苦手とする英会話にあえて挑戦し、海外文化に触れる事で視野を広めグローバルな人材育成を目指す研修である。苦手な事を克服するための努力をグループごとに取り組みせ、それぞれが課題を持って研修にのぞむ。

成績評価方法

レポート100%研修レポートの提出を評価する

履修上の注意

チームでの取り組みのため特定の学生に負担がかかる事無いように注意する。自身のやりたい事、行きたい場所だけが目的では無く広く海外の文化に積極的に取り組む事が出来るように配慮して行く。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

必要に応じて適宜資料を配布します。

回数	授業計画
第1回	海外研修①：空港でのマナー
第2回	海外研修②：現地視察（建造物等の文化）
第3回	海外研修③：現地大学生との英会話での交流
第4回	海外研修④：海外のエンタテインメントに触れる
第5回	海外研修⑤：自由時間のプログラムをチームで作成し実行する
第6回	海外研修⑥：研修内容のまとめ